

授業科目名	ジェンダー論			担当教員	力武 由美	
開講年次	3年前期	セメスター	5	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	社会的歴史的に形成されたジェンダーの概念を理解し、政治・経済・教育・文化・家族など社会のあらゆる分野に潜むジェンダーポリティクスを分析する力を身につける。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ジェンダーの視点を用いて、看護をはじめ社会の様々な分野に潜むジェンダー問題に気づくことができる。 2. 「ジェンダー」に内包されたポリティクスを読み解くことができる。 3. ジェンダー問題解決のために、国際的な視野に立った分析・考察・発表ができる。 4. ジェンダー統計を読み解くことができる。 					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	セックス／ジェンダー／セクシュアリティ ジェンダー概念について理解した上で、社会のあらゆる分野に潜むジェンダーに気づく。 看護職がセックス／ジェンダー／セクシュアリティ概念を理解する重要性について、国際的視野に立って比較考察する。 キーワード： ジェンダー、セックス、セクシュアリティ、ポリティクス、性の二重規範	講義	予習として、看護の分野のジェンダー課題を洗い出し、他者に説明できる程度のメモを作成する。	1時間	力武	
2	労働 労働の分野における男女格差について、国際的視野に立って比較考察する。 キーワード： ペイド／アンペイドワーク、ジェンダーギャップ、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ、ジェンダーギャップ指数 (GGI)	講義	予習として、労働の分野のジェンダー格差を示す国内データおよび国際データを、それぞれ1つ探し、その統計データについて他者に説明できるようにメモを作成する。	1時間	力武	
3	家族 結婚、離婚、独身、シングルマザー、同性婚、子育てなどの事象を通して家族について、国際的視野に立って比較考察する。 キーワード： 性別役割分業、近代家族、民法、三歳児神話、DV、DV防止法、育児・介護休業制度、多様な家族	講義	予習として、映画、小説、マンガ作品から家族の多様な形を探し、「近代家族」との比較対照を通して、異同について他者に説明し、自分のコメントが述べられるようメモを作成する。	1時間	力武	
4	メディア 男女はいかにつくられてきたか、表象文化をもとに、国際的視野に立って比較考察する。 キーワード： ジェンダーステレオタイプ、まなざし、性の商品化、美の基準、異性装、マイノリティ、オリエンタリズム	講義	予習として、日本における「美人」の基準を示す例を探し、その基準がどのように作られているか、他者に説明できる程度のメモを作成する。	1時間	力武	

5	学校 学校環境をジェンダーの視点 で問い直し、国際的視野に 立って比較考察する。 キーワード： 隠れたカリキュ ラム、ジェンダーバイアス、ジェ ンダートラッキング	講義	予習として、教育の分野のジェンダー 課題を洗い出し、具体例をもとに他者 に説明できる程度のメモを作成する。	1時間	力武
6	社会保障制度 キーワード： 少子高齢社会、 労働力不足、社会保障制度、 専業主婦優遇制度、子育て・ 介護	講義	予習として、日本の社会保障制度の改 革に関する新聞記事を探し、その内容 についてジェンダーの視点からコメント を作成する。	1時間	力武
7	世界 国際的視野に立ち、ジェンダー の問題について考える。 キーワード： 人間開発指数、 ジェンダーギャップ指数、SDGs、 アメリカ、北欧、パパ・クオー タ制度、アットホーム・ダッド	講義	予習として、世界のジェンダー課題を 国連持続可能な開発目標他、国際統 計をもとに調べ、他者に説明できるよ うにメモを作成する。	1時間	力武
8	平和とまとめ ジェンダー平等と平和との関係 について考え、全テーマを統 合する。 キーワード： グローバル化、 国連女性差別撤廃条約、国 際的協調、平和構築 レポート、期末試験へのフィ ードバックを行う。	講義	予習として、世界のジェンダー課題の 解決と平和に向けた国連の活動につ いて調べ、メモを作成する。	1時間	力武
先行履修 科目	2年後期までに履修すべき全ての科目				
テキスト	伊藤公雄 他：女性学・男性学—ジェンダー論入門（改訂版）、有斐閣、2011.				
参考文献	随時、授業にて提示する。				
科目の 位置づけ	最も見えにくい差別と言われている「ジェンダー」は、個人の尊厳を傷つける歴史的構築物であり、社会のあらゆる分野に通底し、構造化された差別である。本授業では、人間の尊厳と権利を擁護するという観点から、ジェンダーの孕む問題性を、理論を踏まえ、さまざまな資料や指標などの根拠に基づく理解を通して、ジェンダー問題を解決するための方策を探る学際的な科目である。				
ディプロマポリシー との関連	人間の尊厳と権 利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性 を探究する力
	○			◎	
評価方法	自分の見解を述べる、議論を活発にするといったことなどを通じた授業への貢献（40%）、レポート（30%）、期末試験（30%）				